



HIROSHIMA
SANDBOX
ひろしまサンドボックス



元氣、
美味しい、
暮らしやすい
ENERGY OF PEACE
ひろしま

資料提供
令和8年9月11日
課 名 : イノベーション推進チーム
担 当 者 : 崎本
内 線 : 3346
直通電話 : 082-513-3348

ひろしま AI サンドボックス採択企業3社と知事との座談会

—AI を活用した開発・実証の「現在地」を聞く—

9月17日、イノベーション・ハブ・ひろしま Camps（広島市中区紙屋町）で開催

広島県は9月17日（木）、AI 実証事業「ひろしま AI サンドボックス」第2期の採択企業3社と横田知事による座談会を、イノベーション・ハブ・ひろしま Camps（広島市中区紙屋町）で開催します。

今回は、3社の開発・実証の取組状況や、取組を進める中で感じた可能性、今後の広島での事業展開などについて、知事が直接話を伺います。

失敗を恐れず挑戦できる AI サンドボックス

ひろしま AI サンドボックスは、全国のAI 開発者と、課題を抱える県内の企業や自治体をマッチングする事業です。平成30年度に始まった「ひろしまサンドボックス」の流れを引き継ぎ、AI で新しいビジネスに挑戦する企業や人材を広島に集めることを狙いに置いています。

AI の応用は、まだ誰にとっても手探りの段階です。だからこそ、アイデア段階の提案も支援の対象とするなど、自由な発想による挑戦を後押しし、試行錯誤を通じた新たなソリューションの開発・実証を支援しています。

開発・実証にかかる経費を補助率1/2、最大1億円を県が支援します。課題を提供する県内企業等は費用負担なしで参加できます。

数字が示す、県内外からの関心の高まり

第1期は令和7年度に実施しました。第2期は令和8年6月1日に採択し、現在開発・実証を進めています。

県内企業等から出された課題は143件から258件へ。AI 開発事業者からのマッチング申込は600件から1,274件へ。いずれも第1期の約2倍に増えています。

指標	第1期	第2期
県内企業等から出された課題	143件	258件
マッチング申込	600件	1,274件
採択	20件	17件

開発・実証の先に、その仕組みは現場に残るのか

第2期の開発・実証期間は令和8年6月から令和9年1月末までを予定しています。今回の開発・実証を通じて生まれた仕組みが、その後、実際の現場でどのように活用されていくのかも、今後の重要なポイントとなります。当日は、今後の展望について、開発・実証の途中にいる3社に直接聞くことができます。

第1期を終えたAI開発企業は、何を語ったか

東京の企業が、広島現場に来る理由

「ひろしまAIサンドボックスのようなプログラムは、我々のような外部の企業が地域のリアルな課題に触れる絶好の機会です」

計画どおりには進まない

「今回の取組を通して、技術の新しい活用も見えてきた」

「意見交換を重ねていると、当初の計画とは異なるニーズの解決が必要とわかった」

(広島県公式noteより)

登壇する3社

元・海上自衛隊の爆発物処理員が広島で立ち上げた、産業用ロボットの開発会社

AEROFORGE DYNAMICS 株式会社 代表取締役 CEO 池田 喬志 氏

実証先 マルコ水産有限会社（福山市）

海苔を育てる海の水は、いまでも週に一度、人が船で出て測っています。次に測るのは一週間後で、その間の変化は記録に残りません。

東京大学で量子計算の理論を研究する代表が率い、第1期に続いて採択された東京のAI開発会社

FunnelSphere 合同会社 代表社員／CEO 小林 俊平 氏

実証先 大津建設株式会社（三次市）

工事を一件受けるたびに作る施工計画書は、発注者が定めた仕様書や入札の公告を人が読んで書き起こすものです。大きな工事では数百ページ、書き上がるまでに三週間から一か月かかります。

広島出身の代表が東大の研究室から立ち上げた、映像・AI・遠隔操作技術を手がけるスタートアップ

株式会社ジザイエ 代表取締役 CEO 中川 純希 氏

実証先 CIA 株式会社（広島市）

万引きを見つけるには防犯カメラの映像を確認します。何時間分もの映像を人が目視で確認する作業を、全国の取引先の店舗の分だけ続けています。

当日は、それぞれの代表から、実証に至った背景や現在の取組状況、開発・実証を進める中で見えてきた課題やAIの可能性について紹介します。

開催概要

日時	令和8年9月17日（木）16時10分～17時15分
会場	イノベーション・ハブ・ひろしま Camps （広島市中区紙屋町1-4-3 エフケイビル1F）
登壇者	知事、第2期採択企業3社の代表
進行	広島県商工労働局イノベーション推進チーム
対象	報道関係者

当日の流れ

時刻	内容
16:10	趣旨説明
16:15	開会
16:16	座談 1社目 AEROFORGE DYNAMICS 株式会社
16:25	座談 2社目 FunnelSphere 合同会社
16:34	座談 3社目 株式会社ジザイエ
16:43	知事の締め・フォトセッション
16:45	閉会（16:45 知事退出予定）
閉会～17:15	登壇者への質疑応答・囲み取材

取材について

申込方法	9月16日（水）17時まで に、取材申込書（5ページ）を以下宛先までメールにて送付してください。 イノベーション推進チーム 地域産業デジタル化推進グループ (syoinnov@pref.hiroshima.lg.jp) <u>上記期限以降は、082-513-3348 まで直接お電話ください。</u>
受付開始	15:30～
撮影・録音	開会から終了まで可
フォトセッション	実施予定
質疑応答	実施予定
囲み取材	実施予定
当日配付資料	次第、参加企業情報及び参加者の略歴（3社分）

問い合わせ

広島県商工労働局イノベーション推進チーム（地域産業デジタル化推進グループ）

メール：syoinnov@pref.hiroshima.lg.jp 電話：082-513-3348

報道関係者の取材・撮影・素材請求

取材・撮影のお申し込みは上記イノベーション推進チームまで。

- ・提供可能な素材：ひろしま AI サンドボックスのロゴ、実証の関連画像（個別調整）
- ・実証先への取材：ご希望の実証先企業と取材許諾調整を行います。

申込先 Email : イノベーション推進チーム 地域産業デジタル化推進グループ
<syoinnov@pref.hiroshima.lg.jp>

取材申込書

日時 令和8年9月17日(木) 16:10~17:15
場所 イノベーション・ハブ・ひろしま Camps
(広島市中区紙屋町 1-4-3 エフケイビル 1F)

下記項目をご記入の上、**9月16日(水) 17時まで**にメールにてお申し込みください。

貴社媒体名			
貴社名			
部署名			
ご芳名	他 名		
ご連絡先	TEL	E-MAIL	
当日のご連絡先			
取材予定場所	イノベーション・ハブ・ひろしま Camps		
カメラ	有(ムービー/スチール) / 無		
放送日・掲載日			
備考			